

2 - 4 福島県沖の地震活動（1987 年 2 月～ 10 月）

Seismic Activity in the Region off Fukushima Pref. (February-October, 1987)

仙台管区気象台

気象庁地震予知情報課

Sendai District Meteorological Observatory
Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

昭和 62 年 2 月 6 日ころから活発化した福島県沖の地震活動について報告する。ただし、2 月～ 4 月の状況については、すでに連絡会報等¹⁾で報告されているので、特に必要な部分を除いては省略、ここでは 5 月からの活動状況を中心に述べる。

第 1 図に白河（ 67 型・1,000 倍 ）における日別と半旬別の地震回数を示す。これは 2 月 6 日から 11 月 6 日までの有感を含む地震回数の推移であり、この期間に記録された地震総数は 569 回（このうち有感は 41 回）となった。最大地震は 2 月 6 日の M6.7、震度の最大は V（2 月 6 日・M6.7・小名浜と白河、4 月 7 日・M6.6・小名浜、4 月 23 日・M6.5・白河）。そして、5 月～ 11 月にかけての活動のレベルは、2 月～ 4 月に比べかなり低下したものとなっており、時の経過と共に徐々に低レベル化したことが示されている。しかし、終息したわけではない。活動の消長がなおみられる。この期間（約 6 か月間）、M6.0 以上の地震発生はなく、最大地震は M5.8（9 月 24 日・10 月 4 日）、震度の最大は IV（9 月 24 日・M5.8・福島）であった。

第 2 図に地震の震央分布を示す。(a)は 2 月 6 日から 10 月 31 日までの約 9 か月間、(b)の(1)は 2 月 6 日から 4 月 30 日までの約 3 か月間、(b)の(2)は 2 月 6 日から 7 月 31 日までの 6 か月間のものである。そして、第 3 図には 2 月から 10 月までの月ごとの震央分布を㉠～㉩のとおり示した。8 月から 10 月の最近 3 か月の㉠～㉩には、参考のため断面図も揭示。地震活動の範囲は、2 月に比べると次第に周辺へ広がって来ていることがわかる。特に北側が南側より活発で目をひくのは北西と北東方向の活動。

参考資料として、第 4 図㉠～㉩に福島県沖とその周辺域における月ごと（2 月～ 10 月）の地震活動分布を示す。これは周辺域における地震活動とのかかわりをみるための参考図である。また、有感地震と各地の震度についても第 1 表のとおり示した。この表にリストアップした地震は 36° 40' N ～ 37° 40' N・141° 10' E ～ 142° 10' E 範囲（暫定）のものであるが、最終的には若干の変更があるかも知れない。

参 考 文 献

- 1) 気象庁：福島県沖の地震活動（1987 年 2 月～ 4 月）、連絡会報、**38**（1987）、53 - 63.

第1表 有感地震と各地の震度（福島県沖：1987年2月6日～10月31日）

Table 1 Felt earthquakes and seismic intensities (Off Fukushima Pref.: Feb. 6 - October 31, 1987).

〈気象官署での有感地震〉（福島県沖：1987年2月6日から10月31日）

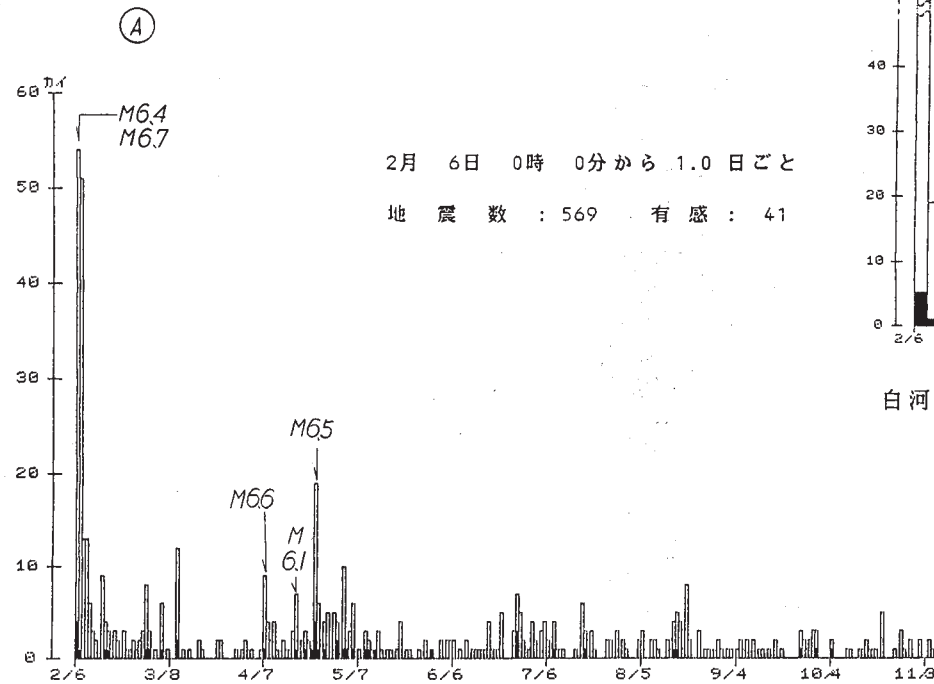
年月日	時 分	M	震 度
1987 2. 6	21:23	6.4	4:小名浜 白河 3:福島 若松 仙台 石巻 水戸 柿岡 宇都宮 千葉 東京 横浜 2:酒田 新庄 宮古 大船渡 盛岡 銚子 館山 日光 熊谷 秩父 甲府 帯広 網代 1:山形 秋田 前橋 高田 河口湖 長野 軽井沢 飯田 輪島 三島 浦河 森 三宅島 八丈島
2. 6	21:30	4.5	1:白河
2. 6	22:16	6.7	5:小名浜 白河 4:若松 仙台 水戸 柿岡 宇都宮 千葉 銚子 東京 横浜 3:福島 石巻 山形 酒田 新庄 大船渡 宮古 盛岡 秋田 前橋 日光 館山 甲府 河口湖 熊谷 秩父 網代 三宅島 2:青森 新海 浦河 帯広 飯田 諏訪 軽井沢 三島 1:八戸 勝浦 長野 輪島 静岡 御前崎 浜松 大島 八丈島 高田 広尾 釧路 留萌 彦根
2. 6	22:34	4.4	1:白河 水戸
2. 7	08:50	4.4	1:白河 宇都宮
2.15	18:39	4.5	1:小名浜 白河
2.16	04:40	4.9	2:小名浜 1:福島 白河 石巻
2.28	15:52	5.6	3:白河 2:小名浜 福島 若松 仙台 水戸 柿岡 宇都宮 1:盛岡 前橋 日光 千葉 東京 横浜
3. 1	16:48	4.6	2:福島 石巻 1:小名浜 白河 若松 仙台 大船渡 宮古 宇都宮
3. 5	10:45	4.7	1:小名浜 福島 白河 仙台
3.10	12:24	5.6	3:仙台 2:小名浜 福島 若松 盛岡 柿岡 銚子 1:白河 石巻 水戸 宇都宮 日光 前橋 千葉 東京 熊谷
3.10	12:28	4.7	1:福島 白河 仙台 宇都宮
4. 7	09:40	6.6	5:小名浜 4:福島 白河 仙台 宇都宮 東京 3:若松 石巻 山形 酒田 新庄 宮古 大船渡 盛岡 柿岡 前橋 日光 千葉 銚子 館山 横浜 熊谷 秩父 甲府 新潟 2:秋田 八戸 青森 諏訪 軽井沢 高田 帯広 河口湖 網代 三島 1:むつ 長野 飯田 静岡 大島 三宅島 八丈島 浦河 広尾 苦小牧 釧路
4.17	04:23	6.1	3:小名浜 福島 白河 石巻 仙台 宇都宮 東京 2:若松 盛岡 宮古 水戸 柿岡 日光 千葉 銚子 館山 1:山形 酒田 大船渡 秋田 八戸 前橋 高田 熊谷 秩父 甲府 河口湖 長野 飯田
4.20	19:09	4.9	2:福島 白河 水戸 1:小名浜 若松 宮古 宇都宮
4.22	11:11	4.6	1:福島 白河 若松 宇都宮
4.23	05:13	6.5	5:白河 4:福島 小名浜 水戸 柿岡 3:若松 仙台 石巻 山形 酒田 新庄 大船渡 宮古 盛岡 宇都宮 銚子 千葉 館山 東京 秩父 甲府 2:秋田 日光 前橋 熊谷 横浜 河口湖 新潟 釧路 1:八戸 青森 勝浦 浦河 苦小牧 函館 大島 三宅島 八丈島 高田 静岡 三島 網代 浜松 飯田 軽井沢 敦賀
4.23	05:34	4.6	1:小名浜 白河 柿岡 宇都宮
4.23	11:01	4.4	2:小名浜 白河 水戸 1:福島 宇都宮
4.23	11:13	4.0	1:水戸
4.24	13:32	4.6	2:小名浜 白河 若松 水戸 1:福島 仙台 宇都宮 日光 千葉
4.26	03:34	4.3	1:白河
4.30	22:46	5.0	3:小名浜 2:福島 白河 仙台 宮古 水戸 宇都宮 1:石巻 盛岡 大船渡
4.30	23:11	4.3	1:小名浜 白河
5. 2	08:06	5.1	2:小名浜 福島 白河 千葉 1:仙台 山形 若松 東京 水戸 宇都宮 館山 柿岡
5. 3	10:56	4.4	1:小名浜 白河 宇都宮
5. 5	14:19	4.8	2:白河 若松 水戸 1:小名浜 福島 仙台 宇都宮 日光
5. 9	09:41	4.1	1:小名浜
5.10	21:23	4.8	1:小名浜 白河 石巻 館山
5.12	05:39	4.2	1:白河
5.30	07:21	4.5	2:小名浜 水戸 柿岡 1:白河 宇都宮
6.26	16:11	5.3	2:小名浜 白河 山形 仙台 水戸 宇都宮 1:福島 若松 石巻 東京 千葉 銚子 横浜 柿岡
6.26	16:13	5.2	1:福島
6.26	16:35	4.3	1:白河
7. 8	12:28	4.7	2:小名浜 宇都宮 水戸 1:福島 白河 柿岡
7.18	04:56	4.1	1:宇都宮
8.16	08:22	5.0	1:小名浜 仙台 水戸 宇都宮
8.16	01:08	4.8	2:小名浜 白河 水戸 宇都宮 1:福島 石巻
9.24	13:55	5.8	3:小名浜 福島 仙台 水戸 宇都宮 柿岡 銚子 前橋 東京 2:白河 若松 山形 石巻 大船渡 盛岡 宮古 千葉 日光 熊谷 1:酒田 秋田 八戸 甲府 秩父 長野 横浜 館山 網代 大島 彦根 浦河
9.29	13:12	4.3	1:小名浜 宇都宮
10. 4	19:27	5.8	4:福島 3:小名浜 若松 白河 仙台 石巻 大船渡 宇都宮 柿岡 2:山形 新庄 盛岡 宮古 水戸 前橋 千葉 秩父 東京 1:酒田 青森 熊谷 館山 甲府 日光 銚子 横浜 新潟 河口湖 網代 浦河

【注】 M：7月31日までは本序MTより、8月1日以後は仙台の暫定値。

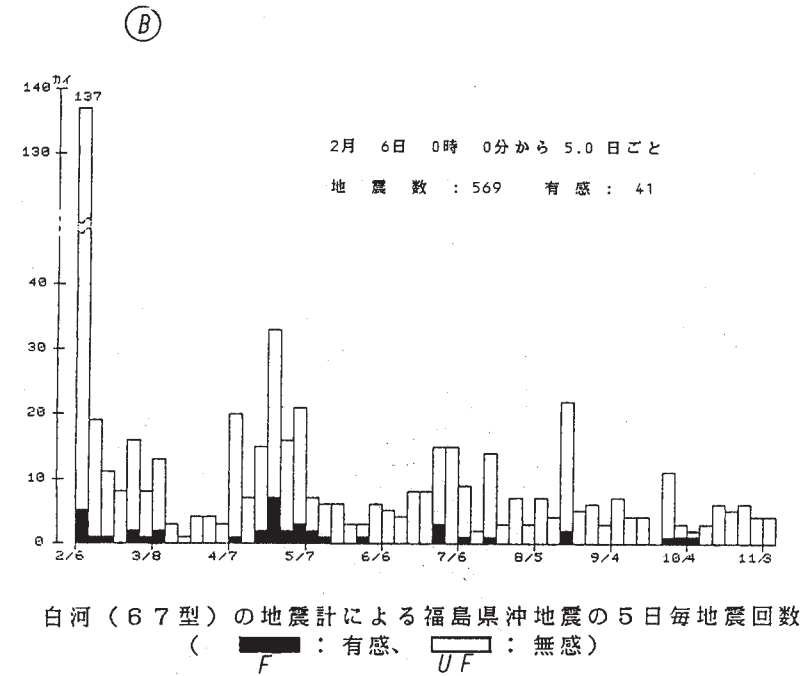
福島県沖の地震活動

1987.2.6 →

＜仙台管区気象台＞



白河（67型）の地震計による福島県沖地震の日別地震回数
（ F : 有感、 UF : 無感）



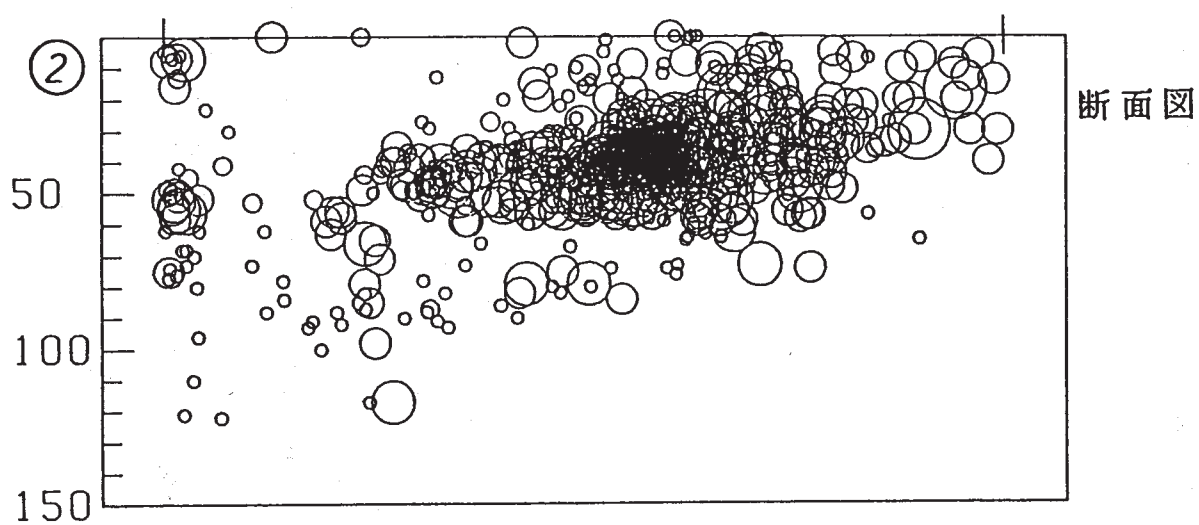
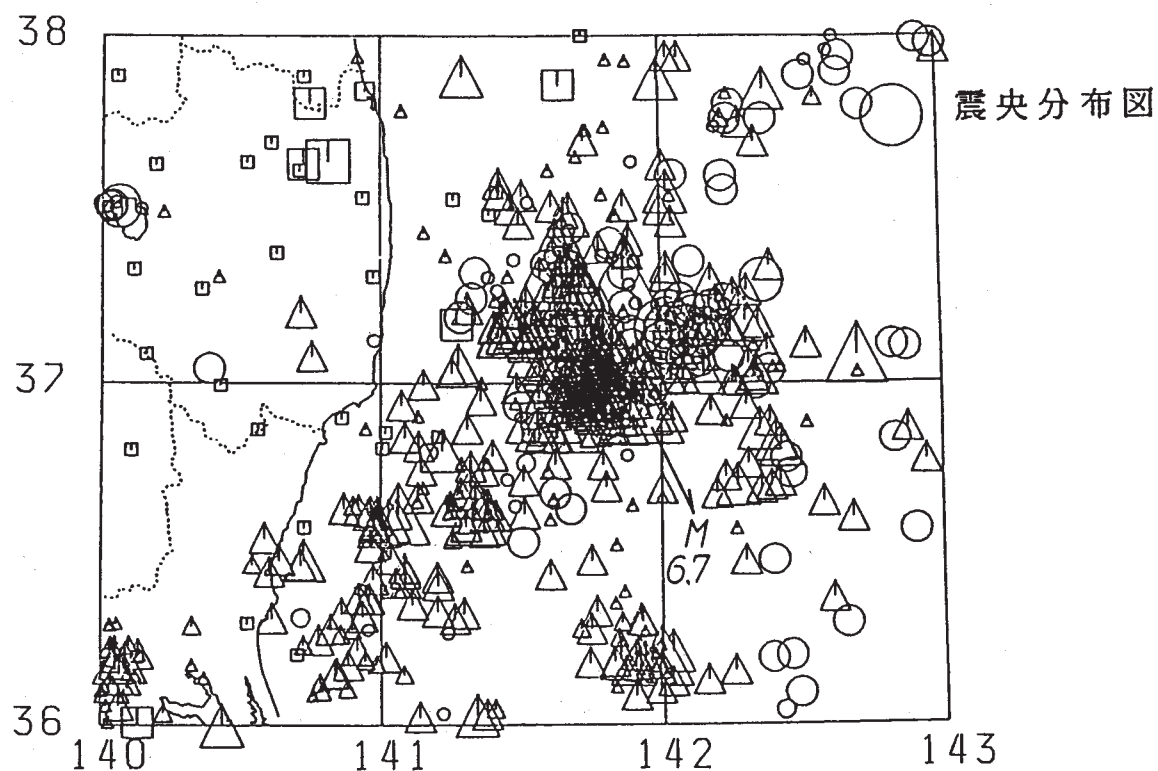
第1図 白河における日別地震回数（67型・1,000倍）F：有感，UF：無感 ④：日別回数，⑤：5日ごとの回数

Fig. 1 Daily number of earthquakes observed at Shirakawa (67 type, 1,000 magnifications).
F: Felt, UF: Unfelt.

④: Dairy number of earthquakes, ⑤: Number of earthquakes for every 5 days.

—(a)—

① 1987 2 6 --- 1987 10 31



H : 00- 30- 80-150-300-600

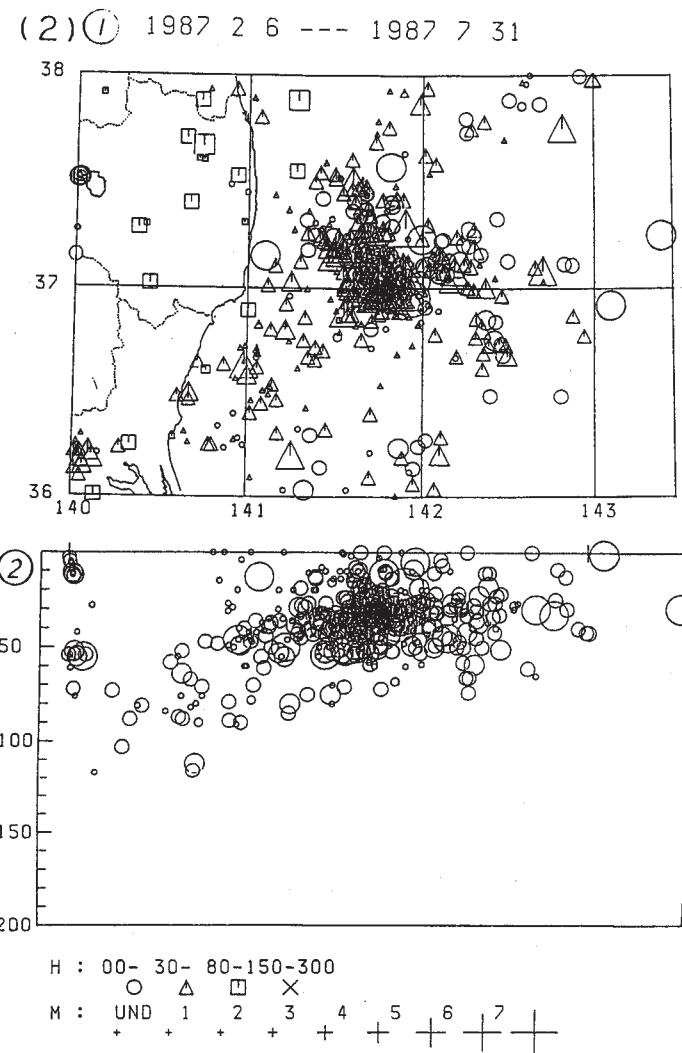
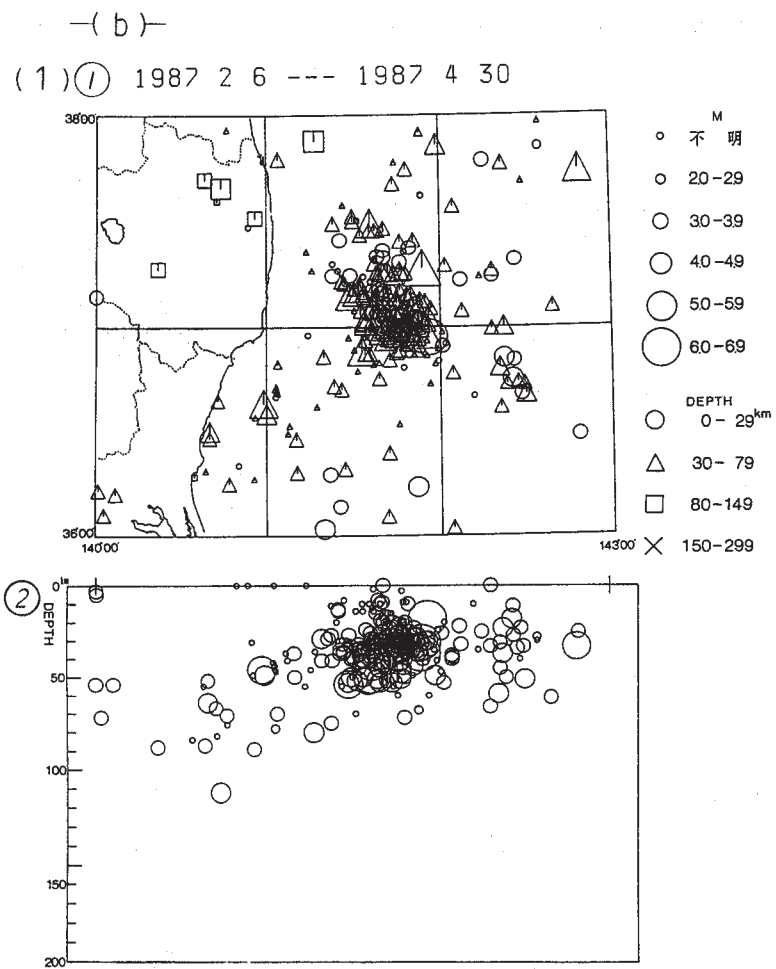
○ △ □ × *

M : UND 1 2 3 4 5 6 7

第2図 福島県沖の地震の震源分布 (1987年2月6日～10月31日)

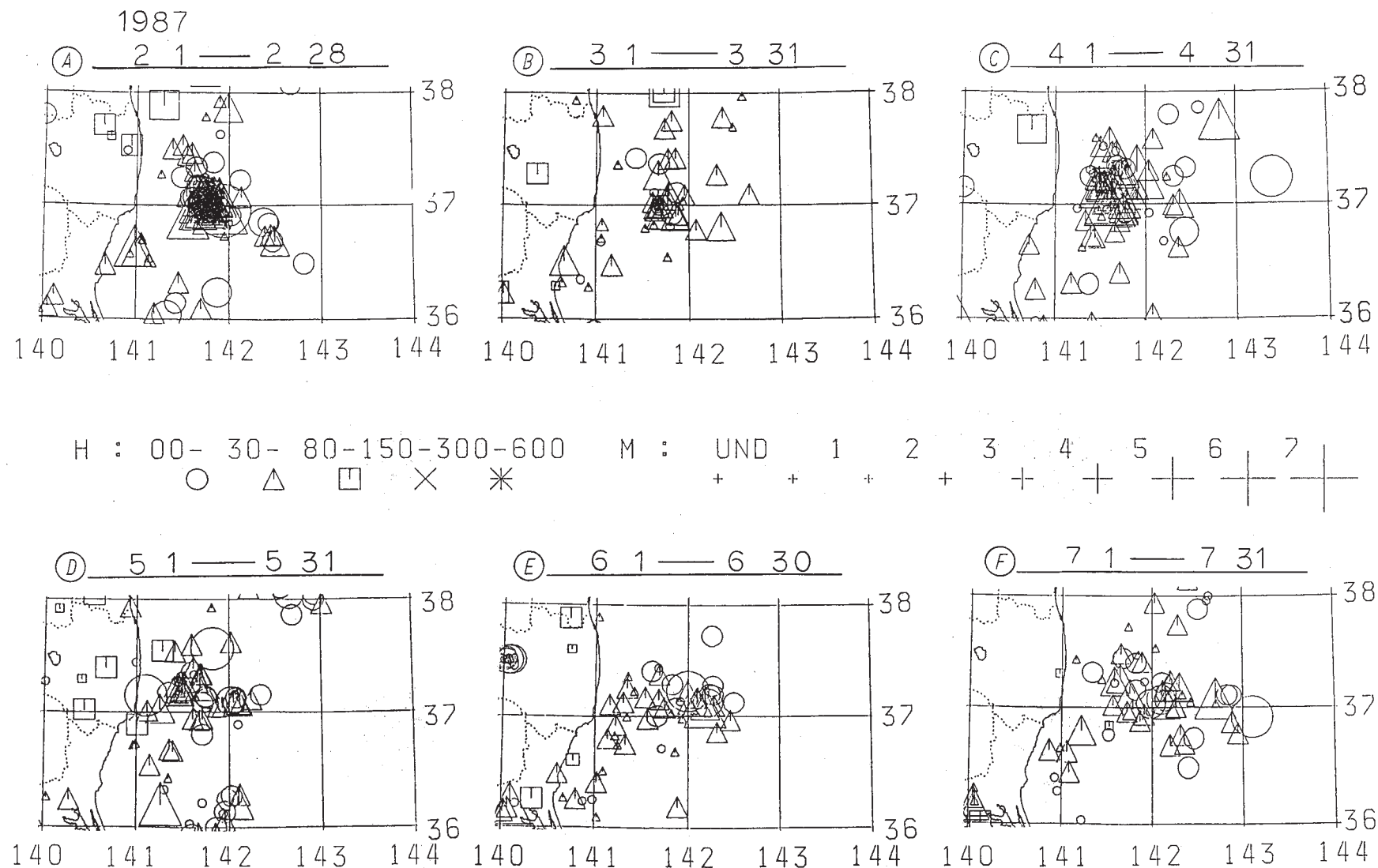
(a) : 2月6日～10月31日。

Fig. 2 Hypocenter distribution for the earthquake in the region off Fukushima Pref. (Feb. 6 - Oct. 31, 1987). (a) : Feb. 6 - Oct. 31, (b) - (1) : Feb. 6 - Apr. 30, (b) - (2) : Feb. 6 - Jul. 31. ① : Epicentral distribution, ② : Vertical section of ① along the EW direction.



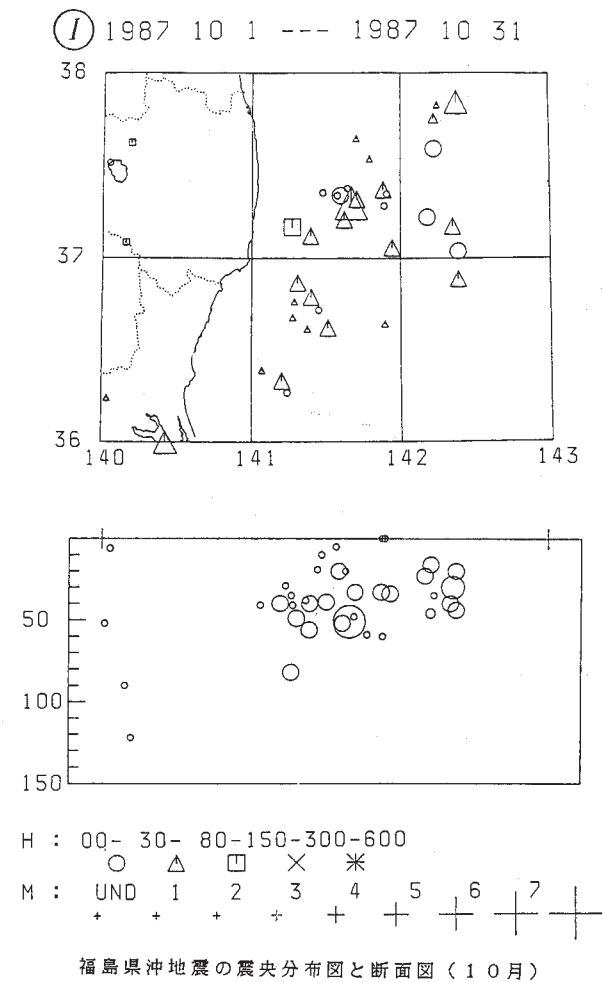
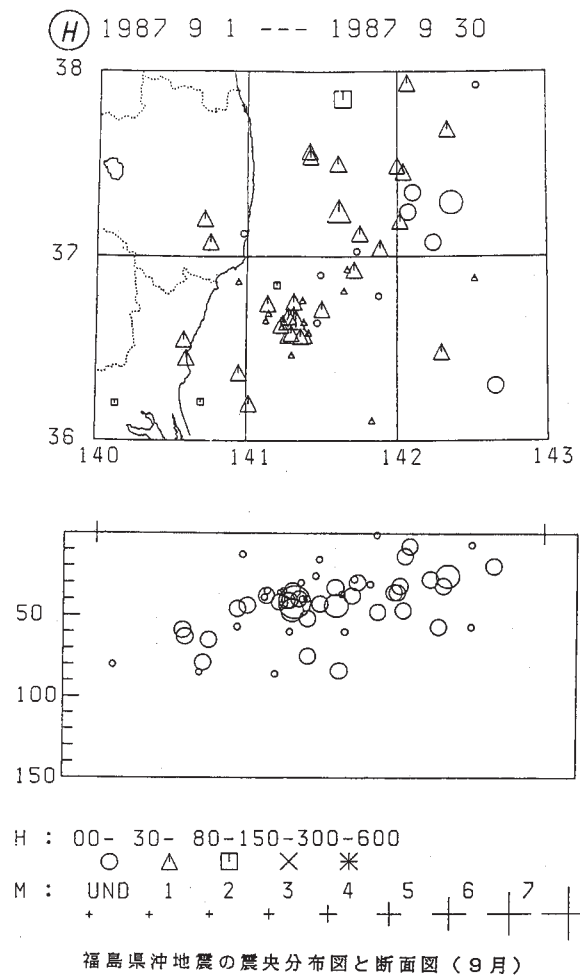
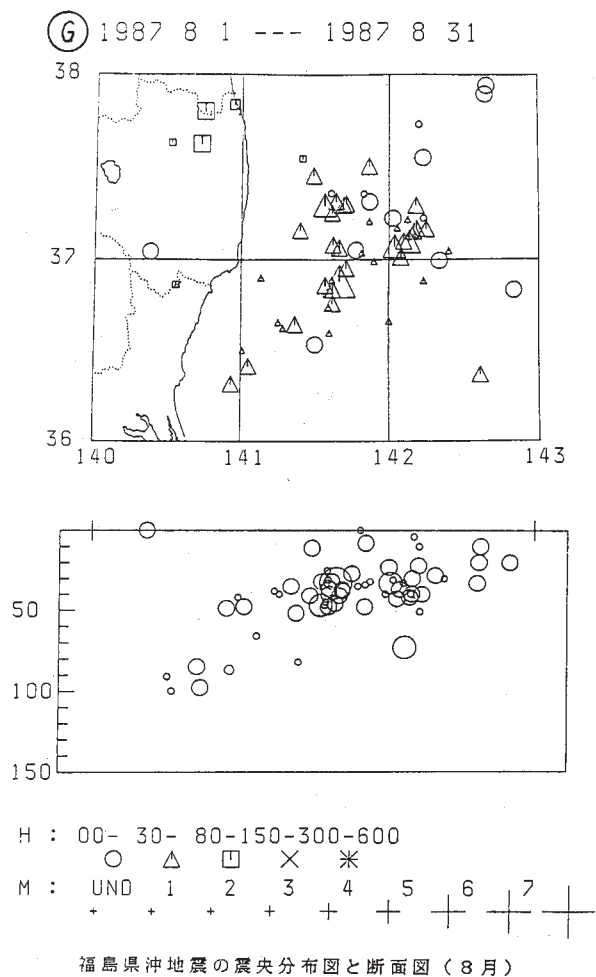
第2図 つづき Fig.2 (Continued)

(b)-(1) : 2月6日~4月30日, (b)-(2) : 2月6日~7月31日。① : 震央分布, ② : 東西断面図。

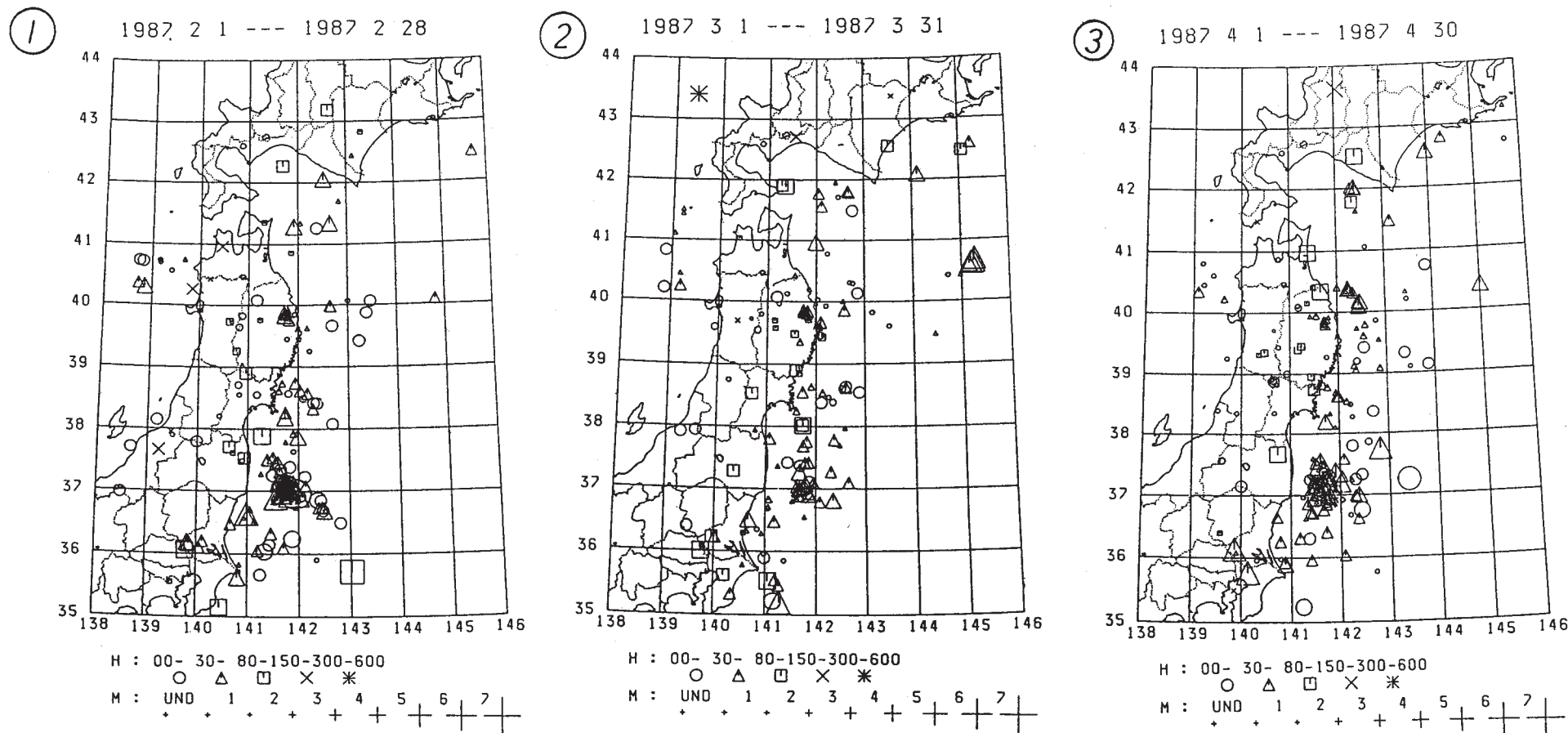


第3図 福島県沖に発生した地震の月別震度分布 (1987年2月～10月)

Fig. 3 Monthly distribution of epicenters in the region off Fukushima Pref. (Feb. - Oct., 1987).

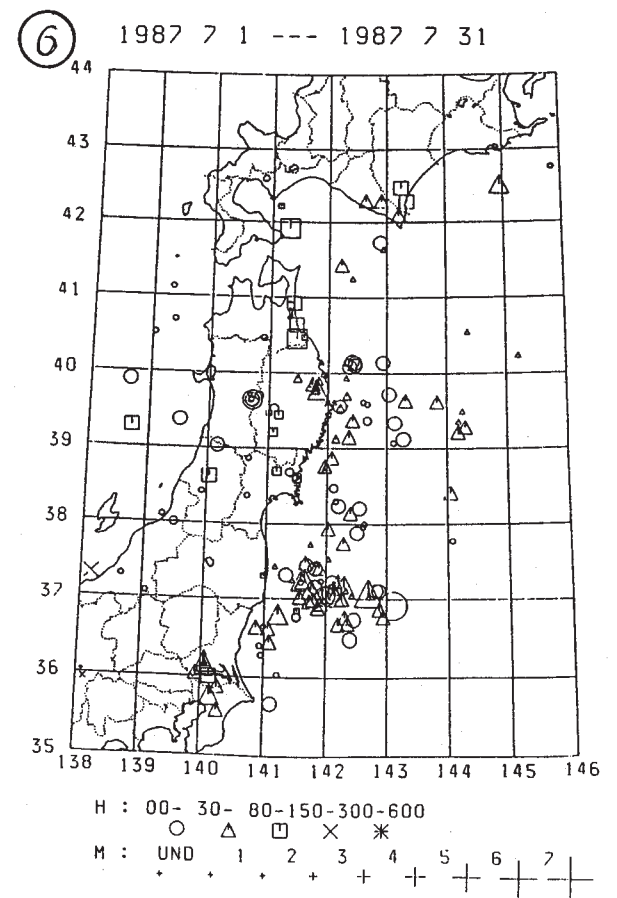
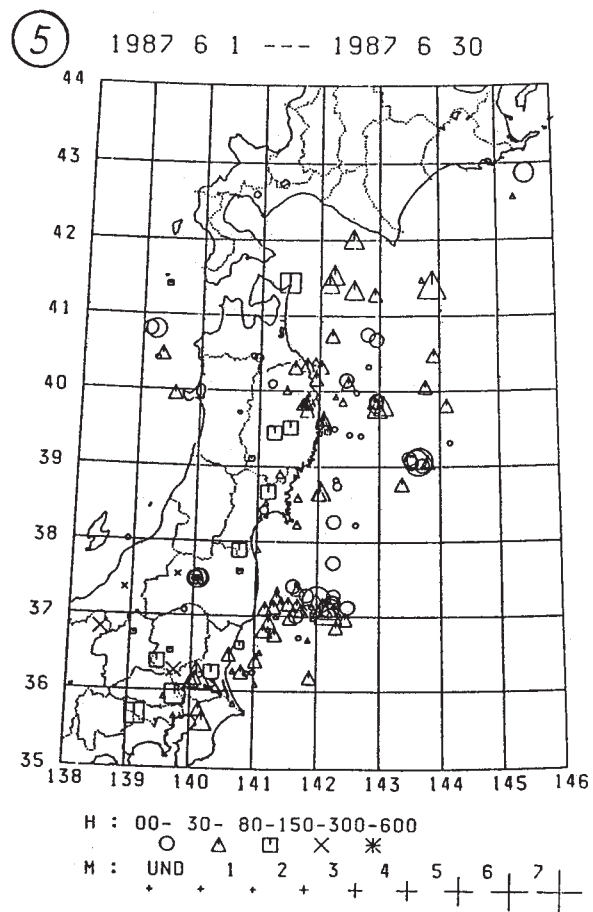
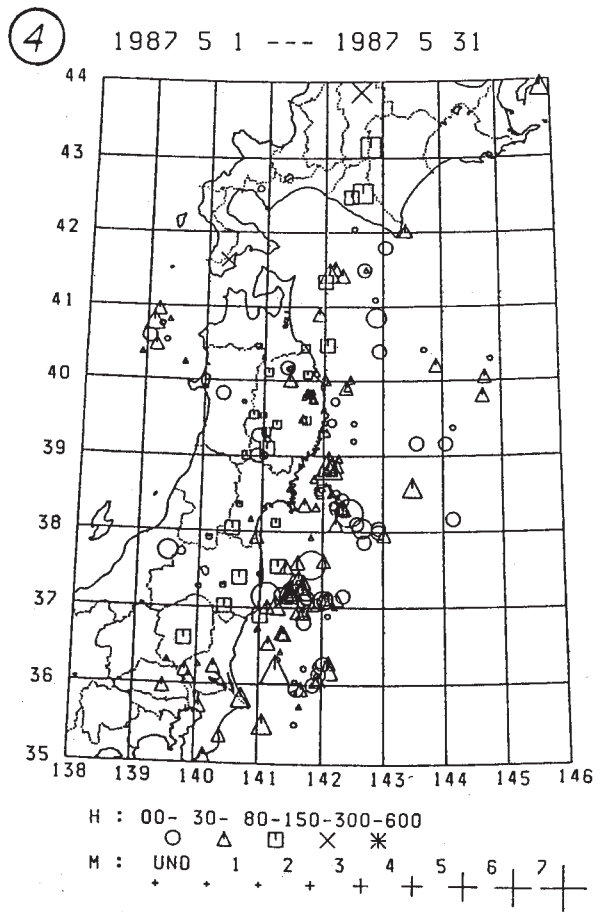


第3図 つづき
 Fig. 3 (Continued)



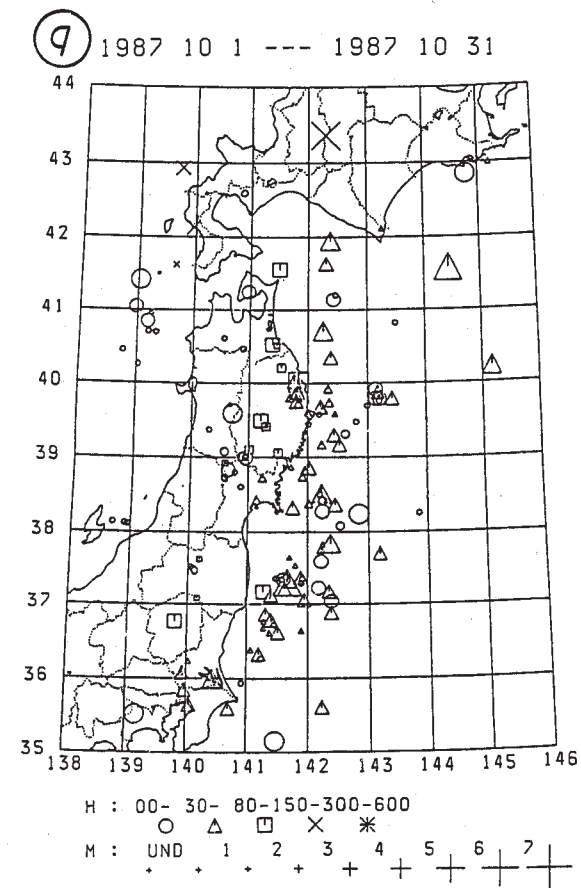
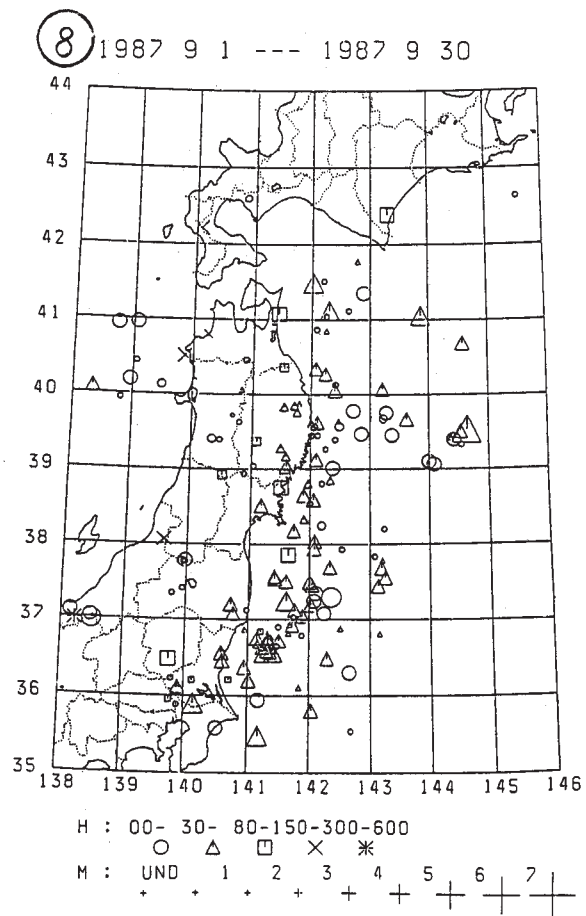
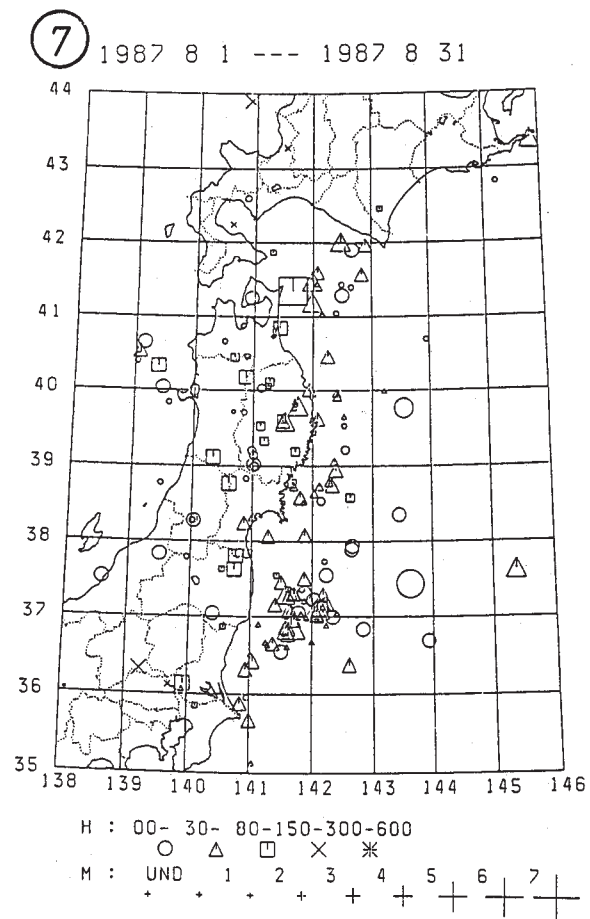
第4図 福島県沖とその周辺における地震活動 (1987年2月～10月)

Fig. 4 Seismic activity in and around off Fukushima Pref. (Feb. - Oct., 1987).



第4図 つづき

Fig. 4 (Continued)



第4図 つづき

Fig. 4 (Continued)